

平成30年度京都教育大学教員免許状更新講習

・講習は主な対象者のニーズにあった内容で実施しています。主な対象者でなければ受講できないということではありませんが、シラパスの内容等を十分ご確認の上でお申し込みください。  
 ・ただし、養護教諭の方は、[全教員]あるいは[養護教諭]、栄養教諭の方は[全教員]あるいは[栄養教諭]の記載がある講習しか受講できません。

区分	講習名	対象職種	主な対象者	会場	講習時間	受講者数(定員)	講習料	開催日
必修	教育の最新事情C(北部会場)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	市民交流プラザふくちやま (京都府福知山市)	6	96	¥6,000	2018/7/28(土)
必修	教育の最新事情A	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	150	¥6,000	2018/8/9(木)
必修	教育の最新事情B	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	150	¥6,000	2018/8/10(金)
選択必修	道徳教育をめぐる理論・実践・評価(北部会場)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	市民交流プラザふくちやま (京都府福知山市)	6	96	¥6,000	2018/7/29(日)
選択必修	教育の情報化—情報活用能力とメディア・リテラシーの育成—	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	70	¥6,000	2018/8/2(木)
選択必修	【反転】反転研修 グローバル化に対応できる学校づくり	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	45	¥6,000	2018/8/7(火)AM
選択必修	新学習指導要領における小学校外国語活動と外国語(英語)の指導と評価	教諭	小、中(英語)、高(英語)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	70	¥6,000	2018/8/9(木)
選択必修	学校教育の現状と課題	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	70	¥6,000	2018/8/10(金)
選択	【反転】反転研修 主体的・対話的で深い学びのための集団づくり—コーチングを用いて—	教諭	幼、小、中、高、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	45	¥6,000	2018/8/2(木)PM
選択	基礎デザイン講座	教諭	小、中(美術)、高(美術)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	25	¥6,000	2018/8/2(木)
選択	社会科の授業をつくる—地図・統計・映像を用いて深い学びを実現する—	教諭	小、中(社会)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	40	¥6,000	2018/8/2(木)
選択	植物バイオテクノロジー 遺伝と遺伝子(第2学舎会場)	教諭	中(理科、技術)、高(理科、農業)	京都教育大学 第2学舎	6	20	¥6,000	2018/8/2(木)
選択	【反転】反転研修 これからの学校体育を考える	教諭	幼、小、中(保健体育)、高(保健体育)、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	50	¥6,000	2018/8/3(金)PM
選択	【反転・連携】反転研修 教師の成長について考える	教諭	幼、小、中、高、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	40	¥6,000	2018/8/3(金)PM
選択	ワークショップで学ぶ「音楽づくり(創作)の指導」	教諭	小、中(音楽)、高(音楽)、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2018/8/3(金)
選択	書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究A	教諭	小、中(国語)、高(書道)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	60	¥6,000	2018/8/3(金)
選択	【反転】反転研修 子どもたちと向き合うための児童生徒理解	教諭 養護教諭	小、中、養護	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2018/8/6(月)AM
選択	【反転】反転研修 アクティブ・ラーニングを取り入れた算数科授業のあり方B	教諭	小	京都教育大学 藤森キャンパス	6	50	¥6,000	2018/8/6(月)PM
選択	【反転】反転研修 国語科における新しい学習指導要領の実現—書いてある通りに読んで「解」を得る—	教諭	小、中、高	京都教育大学 藤森キャンパス	6	60	¥6,000	2018/8/6(月)PM
選択	書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究B	教諭	小、中(国語)、高(書道)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	60	¥6,000	2018/8/6(月)
選択	【反転】反転研修 学習とカリキュラム	教諭	小、中、高、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	40	¥6,000	2018/8/7(火)PM
選択	小・中学校教員のための英語の基礎知識	教諭	小、中(英語)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	40	¥6,000	2018/8/7(火)
選択	源氏物語—藤壺の性と生	教諭	小、中(国語)、高(国語)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	50	¥6,000	2018/8/7(火)
選択	理科授業の実践的事例(生物・地学分野)	教諭	小、中(理科)、高(理科)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2018/8/7(火)
選択	【反転・連携】反転研修 特別な教育ニーズのある子どもの理解と支援	教諭	幼、小、中、高、特支、養護	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2018/8/9(木)AM
選択	【反転】反転研修 家庭科教育における食育—おいしさの科学とアクティブ・ラーニングの観点から—	教諭 栄養教諭	小、中(家庭)、高(家庭)、栄養	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2018/8/9(木)PM
選択	子どもの健康を考える	教諭 養護教諭 栄養教諭	小、中、栄養、養護	京都教育大学 藤森キャンパス	6	50	¥6,000	2018/8/9(木)
選択	アクティブ・ラーニングを理解するための探究学習	教諭	小、中(理科)、高(理科)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	25	¥6,000	2018/8/9(木)
選択	【反転】反転研修 先生を育てるメンターシップ育成講座—省察力・コーチング力・アセスメント力—	教諭	小、中、高	京都教育大学 藤森キャンパス	6	45	¥6,000	2018/8/10(金)PM
選択	新学習指導要領における中学校高校外国語(英語)の指導と評価	教諭	中(英語)、高(英語)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	40	¥6,000	2018/8/10(金)
選択	音楽科授業のための基本・応用講座	教諭	小	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2018/8/10(金)
選択	新聞活用入門講座	教諭	小、中	京都教育大学 藤森キャンパス	6	40	¥6,000	2018/8/10(金)
選択	【反転・双方向】反転研修 アクティブ・ラーニングで情報教育を考える	教諭	小、中、高	京都教育大学 藤森キャンパス	6	40	¥6,000	2018/8/21(火)PM
選択	【対面・双方向】住生活分野の実習—安全な住まいの学習を中心に—	教諭	中(家庭)、高(家庭)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	20	¥6,000	2018/9/8(土)

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情C（北部会場）
講習の概要	<p>本講習では、教職キャリアにおけるさらなる職能開発の契機として講習を位置づける。すなわち、教員免許状を引き続き保有するに値する資質や力量を持つことを確認するための最新情報の伝達といった消極的なものに留まらず、受講者の豊かな教職経験を重要な教育資源と捉え、デマンドサイドに対応した講習を実施する。グループワーク等を用いて、受講者自身の振り返りと教職像の再構築を促すことで、学びつづける教員への支援となることを意図している。</p> <p>【内外の教育政策の動向】 国の教育政策の動向を、例えば国の審議会の動向、学習指導要領の改訂のようなトピックを取り上げ分析的に理解するとともに、諸外国の教育改革の基本的動向について、例えば学力向上政策や教育行政のようなトピックを取り上げ理解を深める。</p> <p>【教育基礎論】 子どもを取り巻く社会的状況の変化、あるいは学校教育の役割や期待などについて、さまざまな職歴をもつ教員同士が討議しあうことで、これまでの経験を振り返り今後の教育実践を展望する。</p> <p>【子どもの発達に関する心理学的知見と特別支援教育】 子どもの発達に関する心理学等における近年の知見や、主としてLD、ADHD等の発達障害のある子どもの理解の仕方と対応及び近年の特別支援教育の取組について理解する。</p> <p>【生活の変化を踏まえた生徒指導論】 不登校やいじめ、暴力など、今日の子どもの姿と課題及び子どもたちの変化を踏まえた生徒指導の方向性やカウンセリングマインドに基づく教育相談の方法について理解する。</p>
履修認定試験問題等	「この講習を受けて、どのようなことを理解し、また考えましたか。さらに、それらを今後の教育実践にどのように活かそうと思えますか。」
試験方法、評価の観点等	<p>○試験方法 30分間の筆記試験</p> <p>○評価の観点等 1. 論理（論理的でかつ読みやすく記述されているか）、2. 理解・思考（講習内容が踏まえられるとともに、受講者自身の理解や把握が明確に示されているか）、3. 実践意欲・展望（これからの教職生活に臨む上での実践上の指向や態度が明確か）</p>
担当講師	別紙 参照
開催日	平成30年7月28日（土） 9：00～17：00
講習時間数	6時間
定員	96名
主な受講対象者	全教員
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭
会場	市民交流プラザふくちやま（京都府福知山市）
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：特になし</p> <p>注意事項：特になし</p> <p>その他：特になし</p>

## 教育の最新事情 担当講師一覧

担当講師	徳岡 慶一	京都教育大学（教育学科）
	樋口 とみ子	京都教育大学（教育支援センター）
	笠沙 知章	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
	徳永 俊太	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
	村上 登司文	京都教育大学（教育学科）
	伊藤 悦子	京都教育大学（教育学科）
	神代 健彦	京都教育大学（教育学科）
	佐藤 克敏	京都教育大学（発達障害学科）
	牛山 道雄	京都教育大学（発達障害学科）
	藤岡 秀樹	京都教育大学（教育学科）
	丸山 啓史	京都教育大学（発達障害学科）
	伊藤 崇達	京都教育大学（教育学科）
	田爪 宏二	京都教育大学（教育学科）
	相澤 雅文	京都教育大学（特別支援教育臨床実践センター）
	佐藤 美幸	京都教育大学（発達障害学科）
	小谷 裕実	京都教育大学（発達障害学科）
	小松 貴弘	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
	本間 友巳	京都教育大学（教育臨床心理実践センター）
	内田 利広	京都教育大学（教育学科）
	西村 佐彩子	京都教育大学（教育学科）
片山 紀子	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）	
高柳 真人	京都教育大学（教職キャリア高度化センター）	

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情A
講習の概要	<p>本講習では、教職キャリアにおけるさらなる職能開発の契機として講習を位置づける。すなわち、教員免許状を引き続き保有するに値する資質や力量を持つことを確認するための最新情報の伝達といった消極的なものに留まらず、受講者の豊かな教職経験を重要な教育資源と捉え、デマンドサイドに対応した講習を実施する。グループワーク等を用いて、受講者自身の振り返りと教職像の再構築を促すことで、学びつづける教員への支援となることを意図している。</p> <p>【内外の教育政策の動向】 国の教育政策の動向を、例えば国の審議会の動向、学習指導要領の改訂のようなトピックを取り上げ分析的に理解するとともに、諸外国の教育改革の基本的動向について、例えば学力向上政策や教育行政のようなトピックを取り上げ理解を深める。</p> <p>【教育基礎論】 子どもを取り巻く社会的状況の変化、あるいは学校教育の役割や期待などについて、さまざまな職歴をもつ教員同士が討議しあうことで、これまでの経験を振り返り今後の教育実践を展望する。</p> <p>【子どもの発達に関する心理学的知見と特別支援教育】 子どもの発達に関する心理学等における近年の知見や、主としてLD、ADHD等の発達障害のある子どもの理解の仕方と対応及び近年の特別支援教育の取組について理解する。</p> <p>【生活の変化を踏まえた生徒指導論】 不登校やいじめ、暴力など、今日の子どもの姿と課題及び子どもたちの変化を踏まえた生徒指導の方向性やカウンセリングマインドに基づく教育相談の方法について理解する。</p>
履修認定試験問題等	「この講習を受けて、どのようなことを理解し、また考えましたか。さらに、それらを今後の教育実践にどのように活かそうと思えますか。」
試験方法、評価の観点等	<p>○試験方法 30分間の筆記試験</p> <p>○評価の観点等 1. 論理（論理的でかつ読みやすく記述されているか）、2. 理解・思考（講習内容が踏まえられるとともに、受講者自身の理解や把握が明確に示されているか）、3. 実践意欲・展望（これからの教職生活に臨む上での実践上の指向や態度が明確か）</p>
担当講師	別紙 参照
開催日	平成30年8月9日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	150名
主な受講対象者	全教員
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：特になし</p> <p>注意事項：特になし</p> <p>その他：特になし</p>

## 教育の最新事情 担当講師一覧

担当講師	徳岡 慶一	京都教育大学（教育学科）
	樋口 とみ子	京都教育大学（教育支援センター）
	竺沙 知章	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
	徳永 俊太	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
	村上 登司文	京都教育大学（教育学科）
	伊藤 悦子	京都教育大学（教育学科）
	神代 健彦	京都教育大学（教育学科）
	佐藤 克敏	京都教育大学（発達障害学科）
	牛山 道雄	京都教育大学（発達障害学科）
	藤岡 秀樹	京都教育大学（教育学科）
	丸山 啓史	京都教育大学（発達障害学科）
	伊藤 崇達	京都教育大学（教育学科）
	田爪 宏二	京都教育大学（教育学科）
	相澤 雅文	京都教育大学（特別支援教育臨床実践センター）
	佐藤 美幸	京都教育大学（発達障害学科）
	小谷 裕実	京都教育大学（発達障害学科）
	小松 貴弘	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
	本間 友巳	京都教育大学（教育臨床心理実践センター）
	内田 利広	京都教育大学（教育学科）
	西村 佐彩子	京都教育大学（教育学科）
片山 紀子	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）	
高柳 真人	京都教育大学（教職キャリア高度化センター）	

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情B
講習の概要	<p>本講習では、教職キャリアにおけるさらなる職能開発の契機として講習を位置づける。すなわち、教員免許状を引き続き保有するに値する資質や力量を持つことを確認するための最新情報の伝達といった消極的なものに留まらず、受講者の豊かな教職経験を重要な教育資源と捉え、デマンドサイドに対応した講習を実施する。グループワーク等を用いて、受講者自身の振り返りと教職像の再構築を促すことで、学びつづける教員への支援となることを意図している。</p> <p>【内外の教育政策の動向】 国の教育政策の動向を、例えば国の審議会の動向、学習指導要領の改訂のようなトピックを取り上げ分析的に理解するとともに、諸外国の教育改革の基本的動向について、例えば学力向上政策や教育行政のようなトピックを取り上げ理解を深める。</p> <p>【教育基礎論】 子どもを取り巻く社会的状況の変化、あるいは学校教育の役割や期待などについて、さまざまな職歴をもつ教員同士が討議しあうことで、これまでの経験を振り返り今後の教育実践を展望する。</p> <p>【子どもの発達に関する心理学的知見と特別支援教育】 子どもの発達に関する心理学等における近年の知見や、主としてLD、ADHD等の発達障害のある子どもの理解の仕方と対応及び近年の特別支援教育の取組について理解する。</p> <p>【生活の変化を踏まえた生徒指導論】 不登校やいじめ、暴力など、今日の子どもの姿と課題及び子どもたちの変化を踏まえた生徒指導の方向性やカウンセリングマインドに基づく教育相談の方法について理解する。</p>
履修認定試験問題等	「この講習を受けて、どのようなことを理解し、また考えましたか。さらに、それらを今後の教育実践にどのように活かそうと思いますか。」
試験方法、評価の観点等	<p>○試験方法 30分間の筆記試験</p> <p>○評価の観点等 1. 論理（論理的でかつ読みやすく記述されているか）、2. 理解・思考（講習内容が踏まえられるとともに、受講者自身の理解や把握が明確に示されているか）、3. 実践意欲・展望（これからの教職生活に臨む上での実践上の指向や態度が明確か）</p>
担当講師	別紙 参照
開催日	平成30年8月10日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	150名
主な受講対象者	全教員
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：特になし</p> <p>注意事項：特になし</p> <p>その他：特になし</p>

## 教育の最新事情 担当講師一覧

担当講師	徳岡 慶一	京都教育大学（教育学科）
	樋口 とみ子	京都教育大学（教育支援センター）
	竺沙 知章	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
	徳永 俊太	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
	村上 登司文	京都教育大学（教育学科）
	伊藤 悦子	京都教育大学（教育学科）
	神代 健彦	京都教育大学（教育学科）
	佐藤 克敏	京都教育大学（発達障害学科）
	牛山 道雄	京都教育大学（発達障害学科）
	藤岡 秀樹	京都教育大学（教育学科）
	丸山 啓史	京都教育大学（発達障害学科）
	伊藤 崇達	京都教育大学（教育学科）
	田爪 宏二	京都教育大学（教育学科）
	相澤 雅文	京都教育大学（特別支援教育臨床実践センター）
	佐藤 美幸	京都教育大学（発達障害学科）
	小谷 裕実	京都教育大学（発達障害学科）
	小松 貴弘	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
	本間 友巳	京都教育大学（教育臨床心理実践センター）
	内田 利広	京都教育大学（教育学科）
	西村 佐彩子	京都教育大学（教育学科）
片山 紀子	京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）	
高柳 真人	京都教育大学（教職キャリア高度化センター）	

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類  
又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	道徳教育をめぐる理論・実践・評価（北部会場）
講習の概要	道徳の教科化なども含め、学校における教育活動全体での道徳教育をめぐる対応が重要視され注目されている。本講習では、現代的な問題として、道徳教育に対する考え方や教材開発などについて、最近の調査などをふまえながら参加者とともに考えていくことをねらいとし、受講によって、理論的にも実践的にも新しい変化に迅速に対応できる体制を整えることをめざす。
履修認定試験問題等	「道徳科が特別の教科となったことによって、変化が予想される点はどのようなところだと考えますか。本講習によって得た知見等をふまえながら論じてください。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の論述試験（A4版1枚）を行います。  ○評価の観点等 1.論理性（論理的かつ説得力をもって記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	相澤 伸幸 京都教育大学（教育学科）
開催日	平成30年 7月29日（日） 9：00～17：00
講習時間数	6時間
定員	96名
主な受講対象者	全教員
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭
会場	市民交流プラザふくちやま（京都府福知山市）
講習料	6,000円
備考	持ち物：グループワーク（学校種ごとのグループ）で時間内に指導案を作成します。そのときの教材・資料としますので、各自がこれまで作成した指導案や教材など1つ（紹介できるもの）を必ずご持参ください。5～6部ほどのコピーを当日持参していただければスムーズに進行できます。  注意事項：特になし  その他：各自、新しい学習指導要領を確認しておいてください。

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類  
又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	教育の情報化 ー情報活用能力とメディア・リテラシーの育成ー
講習の概要	<p>ソーシャルメディア時代の子供達に必要な能力とは何か、学校教育活動においてどのように教育の情報化をはかっていくかを検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「教育の情報化」とは</li> <li>2. 情報活用能力を育てる情報教育（教科型）</li> <li>3. 情報活用能力を育てる情報教育（教科横断型）</li> <li>4. メディア・リテラシー教育</li> </ol>
履修認定試験問題等	「本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。」
試験方法、評価の観点等	<p>○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。</p> <p>○評価の観点等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</li> <li>2. 理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</li> <li>3. 実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</li> </ol>
担当講師	<p>浅井 和行 京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）</p> <p>木村 明恵 京都教育大学（京都教育大学附属桃山小学校）</p> <p>山川 拓 京都教育大学（京都教育大学附属桃山小学校）</p>
開催日	平成30年 8月 2日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	70名
主な受講対象者	全教員
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：特に無し</p> <p>注意事項：特に無し</p> <p>その他：特に無し</p>

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類  
又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	反転研修 グローバル化に対応できる学校づくり
講習の概要	いま学校教育にとってグローバル化への対応は大きな課題である。本学作成の「先生を究めるWeb動画」から「グローバル教育入門」「日本語指導が必要な児童生徒の教育」の2本を視聴し、7月20日（金）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。対面授業では、実際に日本語指導の指導計画またはグローバル化に対応した授業・活動の計画を作成し議論等行う。
履修認定試験問題等	「本講習を受講してグローバル化に対応できる学校づくりについて考えたことを、これからの教育実践にどのように活かそうと思いますか。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	浜田 麻里 京都教育大学（国文学科）
開催日	平成30年 8月 7日（火） 9：30～12：30
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	45名
主な受講対象者	全教員
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：特になし  注意事項：特になし  その他：特になし

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類  
又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	新学習指導要領における小学校外国語活動と外国語（英語）の指導と評価
講習の概要	新学習指導要領の移行措置期間でもあり、早期化・教科化を見すえた小学校英語（中学年「外国語活動」・高学年「英語」）に関して、第二言語習得等の理論、 <i>Let's Try! We Can!</i> など新教材の活用法、small talk、指導法（歌・チャンツ・絵本・コミュニケーション活動など）、文字指導、CLIL、Can-Do評価とパフォーマンス評価などについて理論と実践を融合させる講義およびワークショップを行います。また、より良い指導法や授業のあり方についてビデオを見ながら協議を行います。
履修認定試験問題等	「この講習を受けて考えたことをまとめ、習得した知識をこれからの授業実践にどのように活かそうと思いますか。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の記述式試験（配布資料やノート等の持ち込み不可）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	泉 恵美子 京都教育大学（英文学科） 西本 有逸 京都教育大学（英文学科）
開催日	平成30年 8月 9日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	70名
主な受講対象者	小学校・中学校（英語）・高等学校（英語）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：共通教材（ <i>Let's Try! We Can!</i> ）があればお持ちください。  注意事項：特になし  その他：特になし

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類  
又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	学校教育の現状と課題
講習の概要	最近の法令の制定、改正の状況及び中央教育審議会などの審議会等の答申や審議の状況について要点を解説するとともに、学校においてその状況をどのように受け止めるべきか検討する。また、現在「こどもの貧困」という表現で、社会的に排除されている家庭やこどもの教育についての対応が求められている。そのためには、家庭との連携や他職との協働も必要である。そこで本講習では、「こどもの貧困」を中心に教師と保護者・地域との関係について考察する。
履修認定試験問題等	「本講習において学んだこと、考えたことを、これからの教育実践にどのように活かそうと思いますか。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	竺沙 知章 京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
	伊藤 悦子 京都教育大学（教育学科）
開催日	平成30年 8月10日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	70名
主な受講対象者	全教員
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：特になし
	注意事項：特になし
	その他：特になし

**【選択領域講習】 受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：教育

講習の名称	反転研修 主体的・対話的で深い学びのための集団づくり -コーチングを用いて-
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し、7月20日（金）までに800字程度で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する（基礎編・応用編それぞれ提出）。8月2日（木）の対面授業の前半では、視聴した内容を基に、主体的・対話的で深い学びのベースとなる集団づくりの基礎理論について学ぶ。後半では、自身の学校現場での実践を照らし合わせ、主体的・対話的で深い学びを可能とする集団づくりに向けて課題解決の方法を考え、そのためのスキルを学ぶ。
履修認定試験問題等	「本講習において習得した知識と技術を、これからの集団づくりにどのように活かすか。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 演習に対する意欲を評価するとともに、終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	片山 紀子 京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
開催日	平成30年 8月 2日（木） 14：00～17：00
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	45名
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：特に無し  注意事項：特に無し  その他：参考図書 事前に目を通しておくことが望ましい 片山紀子編著『できてるつもりのアクティブラーニング』学事出版 片山紀子編著『知ってるつもりのコーチング』学事出版 片山紀子編著『深い学びを支える学級はコーチングでつくる』ミネルヴァ書房

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：美術・図画工作

講習の名称	基礎デザイン講座
講習の概要	デザインは人間の生活営為に密接に結びついている。ここでは、日常のなかに美を発見、抽出したものを、結合、提示するために必要な造形の基礎演習「色彩構成」「立体構成」を中心に講習を展開する。
履修認定試験問題等	基礎的な造形力を問う実技課題
試験方法、評価の観点等	○試験方法 実技考査  ○評価の観点 発想から定着までの経緯と作品評価
担当講師	安江 勉 京都教育大学（美術科）
開催日	平成30年 8月 2日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	25名
主な受講対象者	小学校・中学校（美術）・高等学校（美術）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：60センチ位の直定規1本、長辺30センチ位の三角定規1組、ハサミ、カッター、スティックのり、両面テープ、筆記具、コンパス、日本色研事業トータルカラー93色(B5判)、スケッチブックB4  注意事項：汚れても良い服装を着てきてください。  その他：特になし

**【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：社会

講習の名称	社会科の授業をつくる —地図・統計・映像を用いて深い学びを実現する—
講習の概要	<p>社会科において、深い学びを実現するためにはどのような地図・資料等を探し出し、活用すればよいかを実践的にアドバイスします。授業では講師が推薦する地図や統計、映像（史料）等を紹介するとともに、それらを活用して知的好奇心をくすぐる授業の作り方を、作業的・体験的に学びます。最後に、資料活用の実践力をつけることと、社会的な見方・考え方や新教育課程が目指す資質・能力の育成との関わりについて考えます。</p> <p>※昨年度に『社会科の授業をつくる—地図・統計・資料を用いたアクティブ・ラーニング—』の講座を受講された方は、内容の重複があるため受講することはできません。</p>
履修認定試験問題等	<p>終了時に授業内容に関する試験（記述式）を行います。          (例)「この講習内容の中で示された資料は、あなたのこれからの授業実践にどのように活かすことができますか。資料のうちから一つを取り上げ、校種や担当学年などをふまえて具体的に述べてください。」</p>
試験方法、評価の観点等	<p>○評価方法          試験用紙に筆記、時間は20～30分を予定</p> <p>○評価の観点等          1. 論理（問題意識と論旨の明確さ）          2. 理解・思考（内容の理解と把握）          3. 意欲・展望（実践への意欲と展開可能性）</p>
担当講師	<p>山下 宏文 京都教育大学（社会科学科）          香川 貴志 京都教育大学（社会科学科）          中村 翼 京都教育大学（社会科学科）</p>
開催日	平成30年 8月 2日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	40名
主な受講対象者	小学校・中学校（社会）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：色鉛筆（異なる色を3色程度）</p> <p>注意事項：事前に「もののけ姫」のアニメーション映画をDVD等で視聴しておくことが望ましい</p> <p>その他：特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：環境

講習の名称	植物バイオテクノロジー 遺伝と遺伝子（第2学舎会場）
講習の概要	生物を扱う分野において、近年、特に発展の著しい遺伝、遺伝子に関する分野の実験を以下の内容で行い、授業等で実施できるように理解を深める。実験材料には、辛味成分を合成するトウガラシと合成しないピーマンを交配した雑種第二代を用い、葉から簡易法により抽出したDNAを鋳型にしてPCR法により辛味合成遺伝子を検出し、遺伝子型の分離を調査する。このような技術の発展が農業等の分野で利用され、社会を豊かにしていることも概説する。
履修認定試験問題等	本講習において修得した知識や技術をこれからの教育実践にどのように活かそうと思いますか。
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に講習内容に関連する試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 本講習の内容に関する基本的な知識や技能・実践力について評価します。
担当講師	南山 泰宏 京都教育大学（環境教育実践センター）
開催日	平成30年 8月 2日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	20名
主な受講対象者	中学校（理科、技術）・高等学校（理科、農業）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 第2学舎 環境教育実践センター
講習料	6,000円
備考	持ち物：上履きと白衣があれば、持参して下さい。（スリッパはあります）  注意事項：実験を行いますので、汚れてもよい動きやすい服装で来て下さい。  その他：特になし

**【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：保健体育

講習の名称	反転研修 これからの学校体育を考える
講習の概要	新しい学力の育成と共に、少子高齢化の急速な進行、持続可能な社会のあり方など、教育をめぐる重大な課題を踏まえて、身体と動きのリテラシーを育てる体育カリキュラム論について検討し、カリキュラムの方向性についてグループワークを行う。また、体育の授業を行うにあたって踏まえておくべき基本的な事項を含めて、学習内容や運動教材という少し広い視野から、これからの時代に求められる体育授業のあり方について考えていく。
履修認定試験問題等	この講習において学習したことで、今後活用していきたいと思うことについて、自らの授業実践を振り返りながら述べてください（講習内容の理解・授業に対する反省的思考・授業改善への意欲）。
試験方法、評価の観点等	○評価方法 2名の担当講師それぞれの授業の終了時に試験時間15分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ明確な記述） 2.理解・思考（本講習の内容の理解、および自身の理解や考え方の提示） 3.実践意欲・展望（今後の実践への意欲や態度）
担当講師	井谷 恵子 京都教育大学（体育学科） 小松崎 敏 京都教育大学（体育学科）
開催日	平成30年 8月 3日（金） 14：00～17：00
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	50名
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校（保健体育）・高等学校（保健体育）・特別支援学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：特になし  注意事項：特になし  その他：特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：指導・評価

講習の名称	反転研修 教師の成長について考える
講習の概要	本講習では、教師の成長を、教職をよりよく遂行できるようになることと捉え、教師の成長の契機となり得る協働できる関係づくりや認知行動療法の立場に立つ自己理解に関する知見を深めたり、キャリア発達に関する基礎的理論を踏まえた教師のキャリア発達に関する知見を深めながら、教師の成長について考えていく。担当講師の作成したWeb動画2本を視聴し、7月20日（金）までに1本あたり200～300字で要点レポートを提出するとともに、8月3日（金）の対面授業において対話的な学びを行う。
履修認定試験問題等	本講習で習得した知見をこれからの教育実践にどのように生かそうと思えますか
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	高柳 真人 京都教育大学（教職キャリア高度化センター） 河崎 智恵 奈良教育大学（教職大学院）
開催日	平成30年 8月 3日（金） 14：00～17：00
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	40名
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：筆記用具  注意事項：特になし  その他：特に無し

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：音楽

講習の名称	ワークショップで学ぶ「音楽づくり（創作）の指導」
講習の概要	本講習では、音楽科の表現領域の活動である音楽づくり（創作）の指導について理論を理解し、その指導方法を身に付けることをめざす。五線譜を使わず、身近なものや声で音楽をつくらることができる創造的音楽学習の理論や現代音楽の語法について解説したうえで、学習指導要領の〔共通事項〕を意識した音楽づくりの方法をグループで実践する。
履修認定試験問題等	「本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。自身が担当している児童（生徒）の学齢を想定して記述してください。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間20分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	榎下 達也 京都教育大学（音楽科）
開催日	平成30年 8月 3日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	30名
主な受講対象者	小学校・中学校（音楽）・高等学校（音楽）・特別支援学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：音がなる身近なもの（道具・玩具・空箱など）。  注意事項：動きやすい服装で参加してください。  その他：音楽に関する知識がなくても受講可能です。

**【選択領域講習】 受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：書道

講習の名称	書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究A
講習の概要	<p>小学校・中学校（国語）書写、高等学校書道で扱う仮名文字を講義・実習を通じて研修し、書写と書道の関連性を仮名文字から考える。</p> <p>※『書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究B』とは同内容ですので、両講座申込みする事はできません。</p> <p>※昨年度に『書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究』の講座を受講された方は、同内容のため受講する事はできません。</p>
履修認定試験問題等	本講座において習得した知識・技術を活かして書写・書道で扱う文字はどのようなものがふさわしいかを半紙にまとめる。
試験方法、評価の観点等	<p>○評価方法 終了時に提出する作品を制作します。</p> <p>○評価の観点等 1、仮名文字に関する知識・技術が習得できているか。 2、書写・書道で扱う仮名文字に関して理解しそれぞれにふさわしい文字が表現できているか。</p>
担当講師	岡田 直樹 京都教育大学（美術科）
開催日	平成30年 8月 3日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	60名
主な受講対象者	小学校・中学校（国語）・高等学校（書道）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：墨、硯、筆（小字仮名用の小筆）、半紙（小字の仮名が書ける滲みの少ない半紙）など毛筆に必要な用具・用材一式</p> <p>注意事項：書道実習が行える服装</p> <p>その他：必要な資料は当日配布する。</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：教育

講習の名称	反転研修 子どもたちと向き合うための児童生徒理解
講習の概要	事前に、本学で作成している「先生を究めるWeb動画」のうち指定された2本の動画を視聴して、7月20日（金）までに1本あたり300字程度の要約レポートをそれぞれ作成して提出する。対面授業では、視聴した動画の内容を基に、グループディスカッションなどを活用しながら、今の社会を生きる子どもたちが直面している課題について考えるとともに、自らの児童生徒理解とそれに基づく関わりのあり方についての省察を深める。
履修認定試験問題等	「本講習において学んだこと省察したことを、これからの教育実践にどのように活かそうと思いますか。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	小松 貴弘 京都教育大学（大学院連合教職実践研究科）
開催日	平成30年 8月 6日（月） 9：30～12：30
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	30名
主な受講対象者	小学校・中学校教諭、養護教諭
対象職種	教諭、養護教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：特になし  注意事項：特になし  その他：特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：算数・数学

講習の名称	反転研修 アクティブ・ラーニングを取り入れた算数科授業のあり方B
講習の概要	次期学習指導要領において、アクティブ・ラーニングの要素が取り入れられる。前半では、これまでの算数科での様々な取り組みと、アクティブラーニングの取り組み内容とを比較検証しながら、これからの算数教育のあり方について議論する。後半では、実際にアクティブ・ラーニングを取り入れた算数科の授業設計について、グループワークを通して交流する。
履修認定試験問題等	アクティブ・ラーニングを取り入れた算数科授業における利点と、留意すべき点について述べなさい。
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	黒田 恭史 京都教育大学（数学科）
開催日	平成30年 8月 6日（月） 14：00～17：00
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	50名
主な受講対象者	小学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：担当学年の算数教科書、指導書。当該学年がない場合には、隣接する学年内容でも構わない。それもない場合は、持参しなくてもよい。  注意事項：小学校算数科を対象としているので、それ以外の内容は扱わない。  その他：特に無し

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：国語

講習の名称	反転研修 国語科における新しい学習指導要領の実現 一書いてある通りに読んで「解」を得る一
講習の概要	小学校・中学校・高校の読むことの教材について複数教材の読み比べ、ワークショップ、プレゼンテーションなどの多様な形式で学習活動の体験的な開発を行う。基本は、「書いてある通りに読むこと」を通して、推理小説のような問題解決的な読みを行い、明確な「解」を得ることである。「書いてある通りに読む」ためには、書いてある通りに読まないうちに、「考える読み」は行わないことが必要である。「考え」させ過ぎない読み方の追求も行う。また、言語感覚を錬磨するために「誰でもできる句会ライブ」、及び作品評価にも取り組む。
履修認定試験問題等	本講習で体験した学習指導方法、評価方法を自分の実践にどのように取り入れていきますか。もしくはどのように実践を構想していきますか。
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に30分程度で試験（記述式）を実施します。  ○評価の観点等 1. 事前に指定されたWeb配信ビデオコンテンツを視聴し、要約をまとめて返信している。 2. 内容が一定の根拠をもって論理的に記述されている。 3. 具体的に授業改善に生かし、児童生徒の学力を向上させようとしている。 4. 個人的な感想・見解にとどまることなく、国語教育、教育全般に生かしていく確かな姿勢を明確に示している。
担当講師	植山 俊宏 京都教育大学（国文学科）
開催日	平成30年 8月 6日（月） 14：00～17：00
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	60名
主な受講対象者	小学校教諭・中学校教諭・高校学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：筆記用具等  注意事項：アクティブ・ラーニングを積極的に導入するので参加者同士の討議・協働作業が多くなる  その他：特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：書道

講習の名称	書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究B
講習の概要	小学校・中学校（国語）書写、高等学校書道で扱う仮名文字を講義・実習を通じて研修し、書写と書道の関連性を仮名文字から考える。 ※『書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究A』とは同内容ですので、両講座申込みする事はできません。 ※昨年度に『書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究』の講座を受講された方は、同内容のため受講する事はできません。
履修認定試験問題等	本講座において習得した知識・技術を活かして書写・書道で扱う文字はどのようなものがふさわしいかを半紙にまとめる。
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に提出する作品を制作します。  ○評価の観点等 1、仮名文字に関する知識・技術が習得できているか。 2、書写・書道で扱う仮名文字に関して理解しそれぞれにふさわしい文字が表現できているか。
担当講師	岡田 直樹 京都教育大学（美術科）
開催日	平成30年 8月 6日（月） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	60名
主な受講対象者	小学校・中学校（国語）・高等学校（書道）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：墨、硯、筆（小字仮名用の小筆）、半紙（小字の仮名が書ける滲みの少ない半紙）など毛筆に必要な用具・用材一式  注意事項：書道実習が行える服装  その他：必要な資料は当日配布する。

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：指導・評価

講習の名称	反転研修 学習とカリキュラム
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb講義」のうち2本（①「主体的・対話的で深い学びを実現するために」と②「カリキュラム・マネジメントの充実」）を視聴し、その内容の要点レポートを1本あたり200～300字で作成し、7月20日（金）までに提出する。8月7日（火）午後の対面授業では、視聴した内容をもとにテーマを設定し、受講生の学校現場での実践に照らし合わせながらグループ・ディスカッションを通して課題解決の方法を考える。
履修認定試験問題等	本講習で習得した知識や技術をもとに、これまでの自身の教育実践について省察する。
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1. 理解（本講習の内容を踏まえているか） 2. 思考（自身の見解が論理的に示されているか）
担当講師	徳永 俊太 京都教育大学（大学院連合教職実践研究科） 樋口 とみ子 京都教育大学（教育支援センター）
開催日	平成30年 8月 7日（火） 14:00～17:00
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	40名
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：特になし  注意事項：特になし  その他：特になし

**【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：英語

講習の名称	小・中学校教員のための英語の基礎知識
講習の概要	英語の基礎知識を学び教養を深める視点に立ち、英語の諸相について平易に講義する。テーマとして音韻（リズム・強勢パターン）、語彙、文法等を取り上げる。英語の不思議さ、英語について思索することの面白さを教授するとともに、英語の教養を身に付けることの大切さを再発見していただく一助としたい。
履修認定試験問題等	履修認定試験では、講義内容についての理解を確かめる問題、講義内容について考察したことを論じる問題等を出題する予定。
試験方法、評価の観点等	○評価方法 講義終了後に記述式の試験を行う。  ○評価の観点 1. 理解（講義内容について一定の理解ができているか） 2. 論理（論理的に解答できているか） 3. 意欲（講義内容を踏まえ、応用・発展的な課題に対して問題解決を図ろうとしているか）
担当講師	児玉 一宏 京都教育大学（英文学科） 奥村 真紀 京都教育大学（英文学科）
開催日	平成30年 8月 7日（火） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	40名
主な受講対象者	小学校・中学校（英語）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：筆記用具  注意事項：特になし  その他：特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：国語

講習の名称	源氏物語－藤壺の性と生
	皇族から「追放」された光源氏は、にもかかわらず「王権」ににじり寄り、ついには「准太上天皇」の位にたどり着く。しかしそこには、藤壺との不義密通が不可欠なものとして存在した。至高の栄華の裏には至高の罪過があったのである。光源氏の栄華で結ばれる藤裏葉巻であるが、そこでは藤壺の性と生はどのようなものであったのか？ 一人の「女」としての藤壺の生の証を、本文読解の許にたどってみたい。（※予習として、池田弥三郎『光源氏の一生』講談社現代新書、を必ず読んで来ること。）
履修認定試験問題等	『源氏物語』における藤壺の役割を文学的観点から論じよ。
	○試験方法 終了時に30分程度の論述式試験を行う。  ○評価の観点等 1. 論理的かつ読みやすく記述されているか。 2. 本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか。
担当講師	宗雪 修三 京都教育大学（国文学科）
開催日	平成30年 8月 7日（火） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	50名
主な受講対象者	小学校・中学校（国語）・高校（国語）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：ノート、筆記用具  注意事項：予習として、池田弥三郎『光源氏の一生』（講談社現代新書）、必ず読んで来ること。  その他：特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：理科

講習の名称	理科授業の実践的事例（生物・地学分野）
講習の概要	<p>生物分野：短時間で動物組織を観察する簡易凍結徒手切片法の習得、及び観察例として、哺乳類小腸柔毛を両生類カエルの小腸と比較し、柔毛の発達を体験的に理解する</p> <p>地学分野：日常経験する気象現象や災害の原因となる地震に関して、私たちが見過ごしがちな事例を改めて考え直し、その現象の本質を正しく理解することを目指す</p>
履修認定試験問題等	「本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。」
試験方法、評価の観点等	<p>○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。</p> <p>○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	梶原 裕二 京都教育大学（理学科）
	谷口 慶祐 京都教育大学（理学科）
開催日	平成30年 8月 7日（火） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	30名
主な受講対象者	小学校・中学校（理科）・高等学校（理科）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：特になし
	注意事項：特になし
	その他：特になし

**【選択領域講習】 受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：特別支援

講習の名称	反転研修 特別な教育ニーズのある子どもの理解と支援
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb動画2本」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月20日（金）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。また、8月9日（木）の対面授業では、視聴した内容を基にテーマを設定し、自身の学校現場での実践を照らし合わせたアクティブラーニングで課題解決の方法を考える。レポート提出時まで、視聴した2本の中からディスカッション時に参加したいテーマを決めておく（順位づけをしておく）。
履修認定試験問題等	「本講習において習得した特別支援教育に関する知識を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	相澤 雅文 京都教育大学（特別支援教育臨床実践センター） 三盃 亜美 大阪教育大学（特別支援教育講座）
開催日	平成30年 8月 9日（木） 9：30～12：30
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	30名
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭
対象職種	教諭、養護教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：筆記用具  注意事項：なし  その他：なし

**【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：家庭

講習の名称	反転研修 家庭科教育における食育 ーおいしさの科学とアクティブ・ラーニングの観点からー
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb動画2本」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月20日（金）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。また、8月9日（木）の対面授業では、視聴した内容を基に前半では「おいしさの科学」について簡単な演習を通じて理解を深める。後半では食育に通じる家庭科の課題を取り上げ、深い学びの実現に迫る学習指導の在り方について考える。
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
試験方法、評価の観点等	○評価方法 事前視聴のレポート、履修認定試験（修了後に試験時間30分程度の記述式試験を行う）の成績をもとに評価する。  ○評価の観点等 事前視聴のレポート 1. 理解・思考（ビデオの要点がきちんと捉えられているか） 2. 論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 履修認定試験 1. 論理理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 2. 論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 3. 実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	湯川 夏子 京都教育大学（家政科） 榊原 典子 京都教育大学（家政科）
開催日	平成30年 8月 9日（木） 14：00～17：00
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	30名
主な受講対象者	小学校・中学校（家庭）・高等学校（家庭）教諭、栄養教諭
対象職種	教諭、栄養教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：筆記具  注意事項：特になし  その他：特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：保健体育

講習の名称	子どもの健康を考える
講習の概要	現代の子どもを取り巻く環境は、安全性や生活の利便性などは以前より良好となったが、一方で運動不足やジャンクフードなどにより、生活習慣に起因する問題点が多く指摘されるようになってきた。本講習では、子どもの健康問題として、小児肥満とメタボリックシンドローム、運動が健康に与える影響、子どもの睡眠問題、姿勢と足育などを中心に話題提供し、子どもにとって健康的な生活習慣を獲得するには何が重要かを考える機会としたい。受講対象は小・中学校教諭、養護教諭、栄養教諭である。
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	井上 文夫 京都教育大学（体育学科）
開催日	平成30年 8月 9日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	50名
主な受講対象者	小学校・中学校教諭、養護教諭、栄養教諭
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：特になし  注意事項：特になし  その他：特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：理科

講習の名称	アクティブ・ラーニングを理解するための探究学習
講習の概要	アクティブ・ラーニングの視点である「主体的・対話的で深い学び」を理解するために、理科活用汎用的スキルを体験的に学びます。マルチプル・インテリジェンス法によるグルーピング、協働的で自由度の高い探究プロセス（「紙コップの不思議」「火起こしの科学」「アゲハチョウの不思議」等）の体験、支援のためのコーチング、省察の方法について学び、アクティブ・ラーニングによる深い学びに迫ります。理科以外の先生の受講も歓迎します。
履修認定試験問題等	体験的な学習（ワークショップ形式）からの学びについて評価・分析する
試験方法、評価の観点等	○評価方法 ・授業への姿勢、成果物、筆記試験  ○評価の観点等 ・内容の理解度 ・体験からの学びの自己分析
担当講師	村上 忠幸 京都教育大学（理学科）
開催日	平成30年 8月 9日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	30名
主な受講対象者	小学校・中学校（理科）・高等学校（理科）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：筆記用具、ノート、デジカメ（スマホでも可）、なにか容器を1つ持参してください（おわん、マグカップ、湯呑みなど）。  注意事項：軽い運動のできる服装  その他：特になし

**【選択領域講習】 受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：指導・評価

講習の名称	反転研修 先生を育てるメンターシップ育成講座 ー省察力・コーチング力・アセスメント力ー
講習の概要	「教員は学校で育つ」ー経験から学ぶOJTを有効なものにするメンターシップを育成するために「省察力」「コーチング力」「アセスメント力」を体験的に学びます。初任者研修指導やメンターに興味のある方に受講をすすめます。
履修認定試験問題等	講座の省察課題（ループリック）及びレポート作成
試験方法、評価の観点等	○評価方法 Web講座の視聴およびそのレポート 受講の状況及び省察課題（ループリック）及びレポート  ○評価の観点等 メンターシップに対する経験的理解が出来ているか
担当講師	村上 忠幸 京都教育大学（理学科） 橋本 京子 京都教育大学（教職キャリア高度化センター） 初田 幸隆 京都教育大学（教職キャリア高度化センター） 飛田 祥 京都教育大学（教育支援センター） 岡田 敏之 京都教育大学（教育支援センター） 西井 薫 京都教育大学（教育支援センター）
開催日	平成30年 8月10日（金） 14：00～17：00
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	45名
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：筆記用具  注意事項：受講前に予めWeb講義（メンターシップ育成講座理論編1、2）を視聴してレポート（200字程度）を提出しておくこと。  その他：特になし

**【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：英語

講習の名称	新学習指導要領における中学校高校外国語（英語）の指導と評価
講習の概要	小中連携・「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」・「聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり・発表）、書くことの言語活動」・評価（特にCan-Do評価とパフォーマンス評価）などについて理論と実践を融合させる講義およびワークショップを行います。
履修認定試験問題等	「この講習を受けて考えたことをまとめ、習得した知識をこれからの授業実践にどのように活かそうと思えますか。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の記述式試験（配布資料やノート等の持ち込み不可）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	西本 有逸 京都教育大学（英文学科） 泉 恵美子 京都教育大学（英文学科）
開催日	平成30年 8月10日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	40名
主な受講対象者	中学校（英語）・高等学校（英語）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：英和辞書  注意事項：特になし  その他：英語による活動を含みます。

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：音楽

講習の名称	音楽科授業のための基本・応用講座
講習の概要	小学校音楽科授業における有用な内容について講義と演習で学びます。 前半は歌唱共通教材の伴奏法の基本及び鑑賞教材分析の視点について（講義形式） 後半は鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの楽器を用いた合奏について（演習形式）
履修認定試験問題等	「本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	小笠原 真也 京都教育大学（音楽科） 山口 博明 京都教育大学（音楽科）
開催日	平成30年 8月10日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	30名
主な受講対象者	小学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：筆記用具  注意事項：特になし  その他：特になし

**【選択領域講習】 受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：社会

講習の名称	新聞活用入門講座
講習の概要	新聞（記事）を活用して、情報を読み解きながら、考え、伝えあうという学習スタイルは、次期学習指導要領で求められるアクティブ・ラーニングに最適な学習方法です。本講座では、これから新聞活用（新聞を読む・新聞を知る・新聞を作る）に取り組んでみようと考えている先生方に、新聞活用の意義や教科での活用方法などについて、解説とワークショップを通して学んでいただきます。また新聞記者を招いてお話しいただくことも予定しています。
履修認定試験問題等	終了時に授業内容に関する試験（記述式）を行います。 (例)「この講習の中で示された内容を、あなたのこれからの授業実践にどのように活かせると思いますか、校種や担当学年などをふまえて具体的に述べてください。」
試験方法、評価の観点等	○評価方法 試験用紙に筆記。試験時間は20～30分を予定。  ○評価の観点等 1. 論理（問題意識と論旨の明確さ） 2. 理解・思考（内容の理解と把握） 3. 意欲・展望（実践への意欲と展開の可能性）
担当講師	平石 隆敏 京都教育大学（社会科学科） 神崎 友子 京都教育大学（京都教育大学附属桃山中学校）
開催日	平成30年 8月10日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	40名
主な受講対象者	小学校・中学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：特になし  注意事項：特になし  その他：特になし

**【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：教育

講習の名称	反転研修 アクティブ・ラーニングで情報教育を考える
講習の概要	京都教育大学で公開している「先生を究めるWeb動画2本」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月20日（金）までに1本当たり200～300字で視聴内容の要点レポートを作成し提出する。また、本講習は奈良教育大学との二大学間連携講習で、対面授業では視聴内容を基にテーマ設定し、アクティブ・ラーニングによる課題解決方法を考える。最終時間に奈良教育大学開設の同テーマの講習会場と双方向遠隔授業システムで結び、全体交流と総括講義を行う。
履修認定試験問題等	講習内容の知識理解部分を確認する選択式を中心とした問題で確認テストを実施する。
試験方法、評価の観点等	<p>○評価方法 講習後に、講習内容の知識理解部分を確認する選択式を中心とした問題で確認テストを実施する。事前視聴のレポート（30点）、演習活動（30点）、確認テスト（40点）の成績をもとに評価する。</p> <p>○評価の観点等 レポートと演習活動は、次の観点で評価する。</p> <p>●事前視聴のレポート</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビデオの要点がきちんと捉えられているか</li> <li>2. 論理的かつ読みやすく記述されているか</li> </ol> <p>●演習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 積極的に発言し、意見や事例を提案しているか</li> <li>2. グループのまとめ役を担っているか</li> <li>3. ビデオやテキストで紹介された事例だけでなく、独自の視点や解決方法を提案しているか</li> </ol>
担当講師	<p>多田 知正 京都教育大学（産業技術科学科）</p> <p>伊藤 剛和 奈良教育大学（次世代教員養成センター）</p>
開催日	平成30年 8月21日（火） 14：00～17：00
講習時間数	6時間【事前Web視聴3時間（レポート含）、来校座学講習3時間（試験含む）の合計6時間】
定員	40名
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：特になし</p> <p>注意事項：演習中は、当日配布する受講者IDを身につけ、講師が確認できるように配慮願います。</p> <p>その他：webコンテンツを視聴できる環境が必要となる。レポート提出のため電子ファイルの作成提出環境が必要となる。</p>

**【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域**

専門科目検索分類：家庭

講習の名称	住生活分野の実習－安全な住まいの学習を中心に－
講習の概要	住生活分野を中心に簡単な実習を交えながら、安全・安心な暮らし方について考えていきます。具体的には「家庭内事故の実態と防ぎ方」、「家庭防災会議の議題を考えよう」をテーマに取り上げます。なお、本講習は大阪教育大学との二大学間連携講習です。最終時限に大阪教育大学開設の同テーマの講習会場と双方向遠隔授業システムで結び、ディスカッション・合同発表会を行います。
履修認定試験問題等	本講習において学んだことや考えたことを、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
試験方法、評価の観点等	○評価方法 最終時限に20分程度の試験（記述式）を行います。  ○評価の観点等 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	延原 理恵 京都教育大学（家政科） 碓田 智子 大阪教育大学（教育協働学科）
開催日	平成30年 9月 8日（土） 9：00～17：00
講習時間数	6時間
定員	20名
主な受講対象者	中学校（家庭）・高等学校（家庭）教諭
対象職種	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：入手可能であれば、地元や校区の自治体が配布しているハザードマップをお持ちください。  注意事項：特になし  その他：特になし